

平成 29 年度天理市防災研修会実施計画

1 目 的

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災から 6 年が経過した。現在も被災地は復興のさなかであるが、この間にも、茨城県における鬼怒川の決壊や今年の熊本地震など、日本列島では大災害が相次いでいる。

このような中、「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識と連帯感に基づき、災害による被害の予防及び軽減の活動を担う自主防災組織の役割が改めて見直されている。また、官民一体となった復旧復興の取り組みについても、その重要性の認識が高まっているところである。

本研修会は、天理市建設業協会の協力を得て、一般社団法人仙台建設業協会副会長の深松 努氏をお招きし、実際に東日本大震災の現場で活動された経験をもとに、災害現場における初期活動及び協力体制についてのご講演をいただき、今後の地域防災活動の一助としていただくことを目的とし実施するものである。

- 2 開催日時 平成 29 年 9 月 2 日 (土) 10 時 00 分～11 時 55 分
- 3 会 場 天理市文化センター 3 階 文化ホール
- 4 主 催 天 理 市
- 5 後 援 天理市建設業協会
- 6 対 象 者 自主防災組織員、天理市建設業協会会員、消防職団員、警察等関係機関職員
- 7 当日の予定
 - 9:30 開 場
 - 10:00～10:15 開会の挨拶 天理市長 並河 健
 - 10:15～11:45 「東日本大震災 現場からの証言
復興に向けての課題と提言」
講師 一般社団法人仙台建設業協会副会長 深松 努 氏
 - 11:45～11:55 質疑応答
 - 11:55 閉 会